

多摩地域における 行政のデジタル化

令和3～7年度の総括

東京都市長会
令和8年3月

I 令和7年度事業の取組

1. 事業概要

1. 基本情報の整理	06
- 1 本事業の目的	06
- 2 本事業の位置づけ	06
- 3 取組内容及び実施期間	07
① データ利活用・E B P M	08
② 生成A I 利活用	09
③ 横連携・B P R / B P O	10
④ 防災D X	11
⑤ 人事D X	12

2. 事業成果報告

1. データ利活用・E B P M	14
- 1 事業実施結果総括	14
- 2 成果	15
① E B P M・データ活用に関する基礎講義	16
② B I ツール活用・政策立案研修	17
③ 社会調査法基礎講義	23
④ データ整備・加工業務効率化講義	24
⑤ モデル自治体の実際のデータを活用したE B P Mワークショップ	25
⑥ e-ラーニング	26
2. 生成A I 利活用	27
- 1 事業実施結果総括	27
- 2 成果	28
① 文章・画像・動画・音声生成A I 利活用講義	29
② 業務効率化体感ワークショップ	30

目次

2. 事業成果報告	
3. 横連携・BPR/BPO	32
-1 事業実施結果総括	32
-2 成果	33
① DX推進担当者の交流プログラム	34
② BPR/BPOワークショップ	39
4. 防災DX	41
-1 事業実施結果総括	41
-2 成果	42
① 全職員に向けた防災意識醸成のための講義	44
② 防災担当者の交流プログラム	45
③ 机上訓練	48
④ 災害対応フロー可視化体験ワークショップ	49
⑤ GISツール活用ワークショップ	50
⑥ 防災DXツールトライアル	52
5. 人事DX	65
-1 成果	65
① 人事DXツールトライアル	66
Ⅱ 令和3～7年度の取組成果と今後の方向性	
1. 令和3～7年度事業の全体像	79
2. 主要事業の実施概要等	81
3. 令和3～7年度の取組成果と今後の方向性	94
4. 補助金の活用	95

東京都市長会は、多摩地域の住民の福祉の向上と地域の発展のため26市の市長が多摩地域の諸課題について、協議、検討及び政策提言を行うことを目的とした団体で、これまでにその時々で多摩が抱える課題や状況を踏まえて様々なテーマに取り組んできた。

本報告書は、多摩30市町村と市長会がともに進めてきた令和3年度から令和7年度までの政策テーマである『多摩地域における行政のデジタル化』について、令和7年度における取組内容を報告するとともに、5か年の取組成果と今後の方向性をまとめたものである。

I 令和7年度事業の取組

1. 事業概要

1-1. 基本情報の整理

1-1-1 本事業の目的

- 本事業は、多摩地域における行政のデジタル化の推進により「市民の利便性向上」と「市役所の業務効率化」を図ることを目的として実施した。

1-1-2 本事業の位置づけ

- 本事業では、行政手続のデジタル化により住民サービスが向上するとともに、職員がそれぞれの立場でBPRノウハウやDX関連知識を習得し、市長会事業終了後も、自立的に庁内や他自治体と連携し業務効率化を自ら進められている状態を目指し取組を推進した。
- 今年度（令和7年度）は、令和6年度参加者から継続要望のあったプログラムに加え、「自治体業務の変革につながる最新技術の知識習得」「自治体間の交流」「必要なエビデンスに基づく政策立案（EBPM）の推進」を目的としたプログラムを展開。また、多摩地域（東京都内）において首都直下地震への対応など防災意識が高まっており、国土強靱化基本計画でも防災におけるDXの推進が重要とされていることから、防災DXもテーマとした取組を行った。

令和3年度

令和4年度

令和5年度

令和6年度

令和7年度

方針

デジタル化で「市民の利便性向上」と「市役所の業務効率化」を図る

目指す姿

行政手続のデジタル化により住民サービスが向上するとともに、職員がそれぞれの立場でBPRノウハウやDX関連知識を習得し、市長会事業終了後も、自立的に庁内や他自治体と連携し業務効率化を自ら進められている状態

	概要	取組
	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 多摩30市町村の情報システム部門などの管理職でPT（プロジェクトチーム）を結成 ※東京都デジタルサービス局がオブザーバー参加 ➢ 現場職員（課長級～主任級）を中心とした分科会で実質的な議論 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ICT勉強会/課題検討会 ➢ 主要デジタルツールの説明会とトライアル ➢ 学童クラブ入所申請のオンライン化（多摩市）
	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 対面や配信動画により知識向上やBPRの研修を実施 ➢ 「多摩・島しょ行政手続のオンライン化・事務処理効率化推進事業助成金」を創設 ➢ 民間オンライン申請ツールなどの価格優遇制度を創設し、東京都に引継ぎ 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 管理職向け研修 ➢ BPR推進ワークショップ ➢ 妊娠の届出と妊婦面談のBPR（調布市、多摩市、あきる野市） ➢ 学童クラブ入所申請のBPR（八王子市、昭島市、福生市、羽村市）
	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 職員の知識向上や横連携の場の創出、業務改善手法の習得・実践 ➢ 市民の利便性向上と業務効率化につながる新たなBPR事例の創出 ➢ 多摩・島しょ行政手続のオンライン化・事務処理効率化推進事業助成金を増額、実施期間延長 ※GovTech東京がオブザーバー参加 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 管理職向け研修 ➢ DX推進担当者の交流プログラム ➢ BPR推進ワークショップ ➢ 窓口業務のDX（清瀬市、瑞穂町）
	<ul style="list-style-type: none"> ➢ DX推進部門だけでなく原課職員も対象とした講演などの実施 ➢ EBPMを推進するための、データ利用感性を高める意識醸成 ➢ デジタルを活用した防災体制への対応 ➢ 新たな助成金による窓口DXの横展開 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ EBPM推進に向けた講義/研修 ➢ DX推進担当者の交流プログラム ➢ 文章生成AI活用研修 ➢ BPR推進ワークショップ ➢ DXツール相談会 ➢ 防災DX実証事業
	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 5か年事業の終了年度のため、様々な業務の可能性を検証し、事業を締めくくる ➢ 「人口減少時代の効率的な自治体業務」をテーマに「DX実現に向けたデジタルツールのさらなる活用策の検討」、多摩地域が「自立的にDX化を推進できる体制」を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ データ利活用・EBPM推進に向けた講義/研修 ➢ 生成AI利活用に向けた講義/研修 ➢ 防災DXに向けた講義/研修・ツールトライアル ➢ 人事DXに向けたツールトライアル ➢ DX推進担当者の交流プログラム ➢ BPR・BPO推進ワークショップ

市民との接点（フロントヤード）の改革、RPAなどを活用した内部事務（バックヤード）の効率化

DX実現に向けたデジタルツールのさらなる活用検討

1-1. 基本情報の整理

1-1-3 取組内容及び実施期間

- 令和6年度を取組を踏まえ、事業の最終年度である令和7年度では、前年度までの取組の継続・拡充テーマである「データ利活用・EBPM」「防災DX」「生成AI利活用」に加え、「人事DX」をテーマとして取り上げ、その締めくくりとする。

令和6年度を取組

DX推進支援事業	防災DX実証事業
<ul style="list-style-type: none"> 自治体DXをさらに加速させるために、前年度の参加者から継続要望のあったプログラムや自治体業務を変革し得る最新技術の知識を習得でき、自治体間の交流要素のあるプログラムを実施した 前年度のテーマに加え、資源が限られていく中でも有効な政策を実行するために、エビデンスに基づく政策立案(EBPM)を推進していくためのプログラムを実施した 	<ul style="list-style-type: none"> 多摩地域(東京都内)においては、首都直下地震への対応など、防災意識が高まっており、国土強靱化基本計画でも防災におけるDXの推進が重要とされていることから、今年度新たに取組むテーマとして、防災DXを選択した 前年度までに培ったノウハウを活かし、各自治体で防災領域における業務のDXを更に推進していくためのプログラムを実施した

令和7年度を取組

データ利活用・EBPM	生成AI利活用	
<ul style="list-style-type: none"> EBPM知識を習得し、データ利活用を行える人材の育成 データ整備・加工を効率的に行える人材の育成 実際のデータを用いた分析・示唆出し事例の創出 	<ul style="list-style-type: none"> 生成AIを庁内で推進するための知識を習得 画像・動画生成AIを活用した業務効率化 生成AIによる業務効率化体験 	
横連携・BPR/BPO	防災DX	人事DX
<ul style="list-style-type: none"> 各自治体のDX推進担当者間の交流・横連携の促進及びナレッジの蓄積 BPR手法の習得及びBPOによる業務改革事例検討 	<ul style="list-style-type: none"> 防災担当課以外の職員も対象とした防災マインドの醸成 災害対応フローの可視化やGISツール活用による災害対応力の向上 防災担当者の交流プログラムによる防災上の連携検討 	<ul style="list-style-type: none"> 遠隔地からの応募人材確保に向けた選考フローの改善 人事戦略検討業務を支援するタレントマネジメントツールの体験 メンタルヘルスケアのためのオンライン相談ツールの体験

1-1. 基本情報の整理

1-1-3 取組内容及び実施期間

事業プログラム

自治体におけるデータ利活用・E B P Mを推進するために6つのプログラムを実施した。

事業	目的/概要	対象者	開催時期/方法	
データ利活用 E B P M 基礎・ 実践研修	E B P M・データ 活用に関する基礎 講義	<ul style="list-style-type: none"> データ分析に基づく政策立案の必要性を理解しE B P Mを推進するための基礎知識を習得する。 	全職員 (特にE B P M を業務で活用 したい職員)	6月 全1回 対面
	B I ツール活用・ 政策立案研修	<ul style="list-style-type: none"> B I ツールの活用方法を習得し、政策立案に応用可能なデータ分析スキルを習得する。 	全職員 (特にB I ツール を業務で活用 したい方)	7月～10月 全6回 対面
	社会調査法基礎講 義	<ul style="list-style-type: none"> 社会調査法の基礎知識を習得し、E B P Mを実践する際に必要なデータを取得できるようになる。 	全職員 (特に計画・ 市政世論調査 などのアンケート の作成・ 活用に関わる 方)	6月 全1回 対面
E B P M 事例創出に 向けた 講義・ワーク ショップ	データ整備・加工 業務効率化講義	<ul style="list-style-type: none"> 自治体で扱うデータを理解し、データ整備・加工業務の方法や使用頻度の多いExcelでの効率的なデータ整備・加工方法の講義を行う。 	全職員 (特にオープン データを加工 し実践で活用 したい方)	9月 全1回 対面
	モデル自治体の実 際のデータを 活用したE B P M ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> モデル自治体で使用されている実際のデータを用意し、ケーススタディとしてデータを分析しながら政策案を検討することで、業務でE B P Mを実践できるようになる。 	全職員 (特にオープン データを使っ てE B P M を実践した い方)	10月 全1回 対面
e-ラーニング※	<ul style="list-style-type: none"> E B P M・データ利活用や生成A I 関連以外にも、デジタル・D X 関連のマインド・リテラシー・スキルを幅広く学び、自ら学習機会を確保し学びを継続することで、自走型でデジタルを活用する人材を目指す。 	全職員	5月～10月 ※令和8年 3月まで 視聴可能	

※ e-ラーニングは、生成A I 利活用と同様のコンテンツ

1-1. 基本情報の整理

1-1-3 取組内容及び実施期間

事業プログラム

自治体における生成A I 利活用を推進するために3つのプログラムを実施した。

事業		目的/概要	対象者	開催時期/方法	
②生成A I 利活用	生成A I がもたらす業務変革	文章・画像・動画・音声生成A I 利活用講義	<ul style="list-style-type: none"> 生成A I の概要と最新の動向、自治体での活用事例を知り、生成A I の業務での活用イメージをつかむ。 	全職員 (生成A I を初めて学ぶ方・トレンドを知りたい方)	5月 全1回 オンライン
	業務効率化の体感	業務効率化体感ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> 議事録作成や議会对応準備など、生成A I による業務効率化を実際に体験することで、生成A I の活用方法を習得し、職場に戻って業務改革を実行する一歩を踏み出す。 	全職員 (生成A I を業務で活用したいと考える方)	9月 全2回 対面
	e-ラーニング*		<ul style="list-style-type: none"> E B P M ・データ利活用や生成A I 関連以外にも、デジタル・D X 関連のマインド・リテラシー・スキルを幅広く学び、自ら学習機会を確保し学びを継続することで、自走型でデジタルを活用する人材を目指す。 	全職員	5月～10月 ※令和8年3月まで 視聴可能

※ e-ラーニングは、データ利活用・E B P M と同様のコンテンツ

1-1. 基本情報の整理

1-1-3 取組内容及び実施期間

事業プログラム

自治体における横連携・BPR/BPOを推進するために2つのプログラムを実施した。

	事業	目的/概要	対象者	開催時期/方法
③ 横連携・ BPR/ BPO	横連携	D X推進担当者の交流プログラム	D X推進担当者	6月～9月 全5回 対面
	BPR/ BPO	BPR/BPO推進ワークショップ	BPRの手法やBPOの推進方法を学びたい職員	7月～9月 全2回 対面

1-1. 基本情報の整理

1-1-3 取組内容及び実施期間

事業プログラム

自治体における防災DXを推進するために8つのプログラムを実施した。

事業	目的/概要	対象者	開催時期/方法	
マインドセット・人材育成	全職員に向けた防災意識醸成のための講義	全職員	6月 全1回 対面	
	防災担当者の交流プログラム	防災担当職員 (防災・DX・その他部署)	7月～9月 全3回 対面	
	机上訓練	防災担当職員 (防災・DX・その他部署)	9月 全1回 対面	
④ 防災DX 複数自治体による災害対応の検討	災害対応フロー可視化体験ワークショップ	防災担当職員 (防災・DX・その他部署)	9月 全1回 対面	
	GISツール活用ワークショップ	防災担当職員 (防災・DX・その他部署)	9月～10月 全2回 対面	
先進技術のトライアル	情報の可視化 (防災マップボード)	全職員	6月～9月	
	避難所運営 (ポケットサイン)	(A)ツールトライアル ・ポケットサイン防災が災害後の避難所運営の効率化等に活用できるか検証する。トライアルを通じて現状の運用との差分を体験する。	防災・危機管理関連部門の職員 (防災・DX・その他部署)	6月～8月
		(B)ポケットサイン現地体験会 ・避難所受付を模擬的に再現し、「ポケットサイン」を活用した避難所受付により、避難所運営の効率化・利便性向上を体験する。	防災担当職員 (防災・DX・その他部署)	8月 全1回 対面
災害情報の収集 (FASTALERT)	・SNS情報などを基にした災害予兆、発生情報を確認する。	防災関連部門の職員	6月～10月	

1-1. 基本情報の整理

1-1-3 取組内容及び実施期間

事業プログラム

自治体における人事DXを推進するために3つのプログラムを実施した。

事業	目的/概要	対象者	開催時期/方法
⑤人事DX 先進技術の トライアル	AI面談 (HireVue) <ul style="list-style-type: none">面接日程調整などの庶務担当者の採用業務の効率化や優秀な人材をすばやく判定し、採用品質の向上を体験する。	人事担当者・ 人材採用 担当者	6月～10月
	タレント マネジメント (カオナビ) <ul style="list-style-type: none">人材情報の一元管理や人材配置業務の効率化を体験する。	人事担当者・ 人材採用 担当者	6月～8月
	オンライン 相談窓口 (Smart相談室) <ul style="list-style-type: none">職員の仕事に対する不安の解消やモチベーション向上につながる相談を通じ、メンタル不調による離職を防ぎ、人事労務の負担軽減を体験する。	人事担当者・ 人材採用 担当者	6月～10月